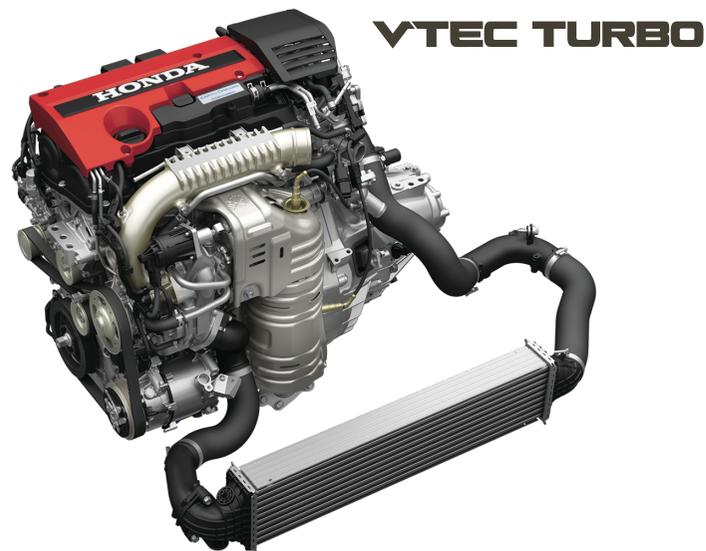


歴代TYPE R最高の高出力・高トルク。新開発 直噴2.0L VTEC TURBOエンジン

VTECに直噴技術とターボを組み合わせ、
FF車トップ*の228kW(310PS)/
400N・m(40.8kgf・m)を達成。

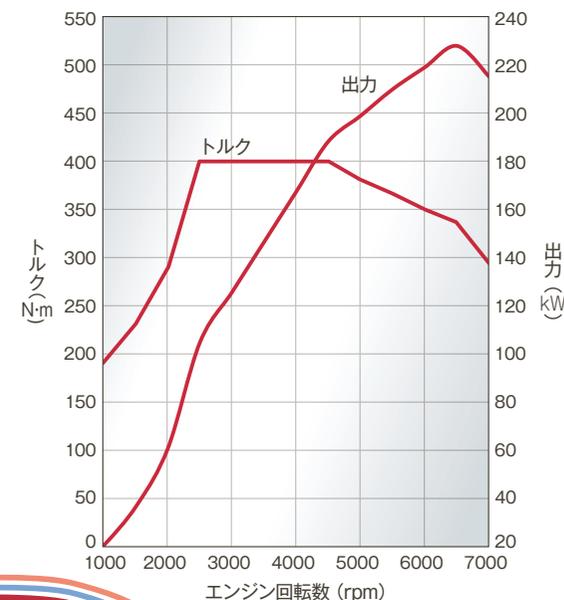
※2015年10月現在。
Honda調べ

加速性能、最高速、そしてサーキットタイムのすべてにおいてFF量産車最速を求め、シビック TYPE Rは出力目標を300馬力オーバーに設定。その実現のために、TYPE R初となるターボエンジンを新開発しました。Honda独自の吸排気VTC&排気VTECに直噴技術とターボチャージャーを組み合わせることで、ターボラグの極小化と高出力化を追求。最高出力228kW(310PS)、最大トルク400N・m(40.8kgf・m)、レッドゾーン7,000rpmの高出力・高トルク・高回転のハイパフォーマンスエンジンを完成しました。全域でレスポンスに優れ、高回転域までよどみなくパワーが湧き上がる特性を獲得しています。また、歴代TYPE Rから受け継ぐ鮮やかなレッドのエンジンカバーや、アルミ製インテークパイプなど、ボンネットを開けた時の迫力ある存在感にもこだわりました。

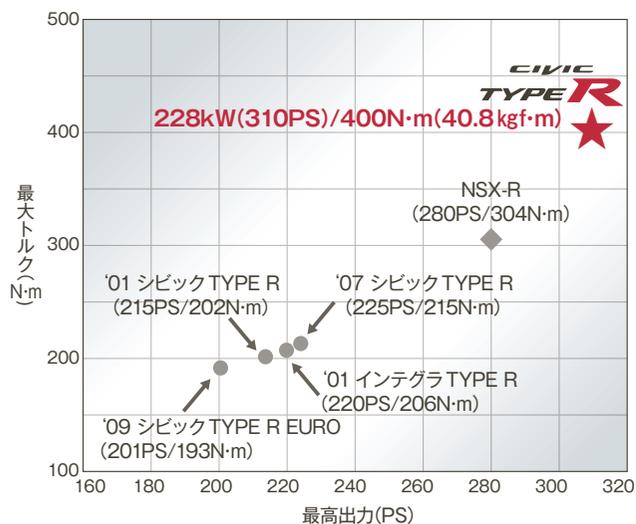


VTEC TURBO

■エンジン性能曲線図



■歴代TYPE R 出力/トルク比較



■主要技術



最高出力
228kW(310PS)
/6,500rpm

最大トルク
400N・m(40.8kgf・m)
/2,500~4,500rpm